

(26) 浄化センター運転状況（平成17年度）

浄化センター		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	大腸菌群数 (個/mL)
湖 南 中 部 浄化センター	流入水質	7.3	180	101	197	31.4	3.4	—
	放流水質	6.6	0.7	5.6	0.5	5.5	0.05	2
	排水基準	6.0~8.5	20	20	40	20	1	3000
	除去率(%)	—	99.6%	94.5%	99.7%	82.5%	98.5%	—
湖 西 浄化センター	流入水質	7.2	160	80.5	140	25.5	2.96	—
	放流水質	6.9	1.0	4.9	0.4	2.9	0.03	7
	排水基準	6.0~8.5	20	20	40	15	0.5	3000
	除去率(%)	—	99.4%	93.9%	99.7%	88.6%	99.0%	—
東 北 部 浄化センター	流入水質	7.2	150	80.7	151	29.9	3.04	—
	放流水質	6.8	0.7	5.2	0.6	3.9	0.04	6
	排水基準	6.0~8.5	20	20	40	15	0.5	3000
	除去率(%)	—	99.6%	93.6%	99.6%	87.0%	98.7%	—
高 島 浄化センター	流入水質	7.2	160	73.4	115	26.7	2.72	—
	放流水質	6.5	1.3	6.1	0.2	5.4	0.02	7
	排水基準	6.0~8.5	20	20	40	15	0.5	3000
	除去率(%)	—	99.2%	91.7%	99.8%	79.8%	99.3%	—

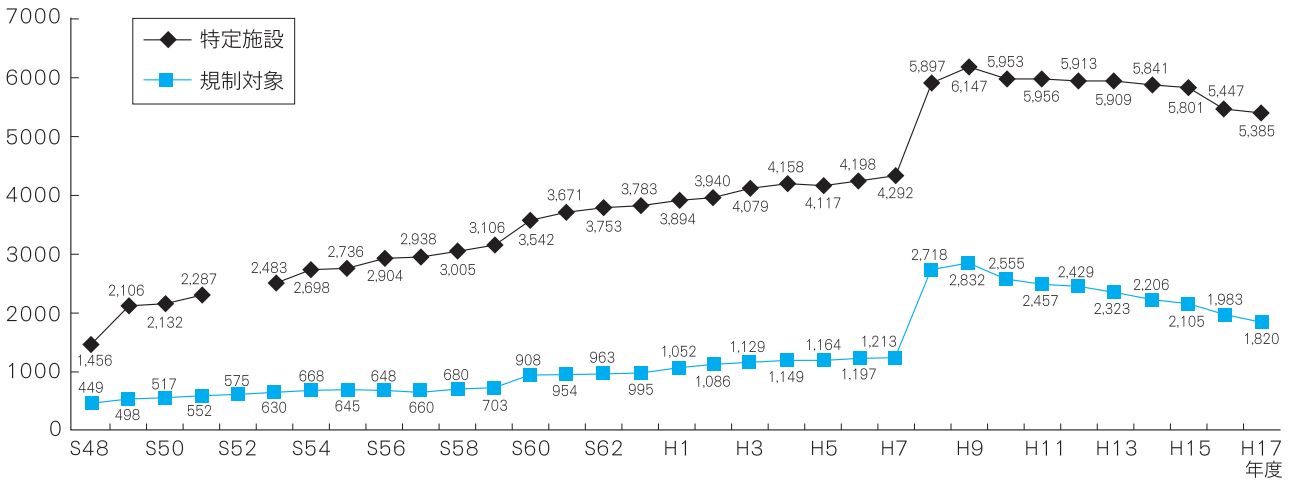
(27) 公共下水道の整備事業

処理区名	市 町 名 (着手年度)	全体計画	平成17年度末状況		備考
		設備面積	設備面積	設備率(%)	
		A (ha)	C (ha)	C/A	
琵琶湖流域下水道	湖南中部関連(計)	29,227.5	14,747.5	50.5%	
	湖西関連(計)	3,543.0	2,049.2	57.8%	
	東北部関連(計)	13,645.5	8,371.5	61.3%	
	高島関連(計)	2,443.0	1,517.0	62.1%	
	小計	48,859.0	26,685.2	54.6%	
単 独 公 共	大津市(単独・昭和36年)	1,471.3	1,395.5	94.8%	一部合流含む
	大津市(藤尾・平成3年)	92.0	91.6	99.6%	※
	近江八幡市(沖島・昭和53年)	8.7	8.7	100.0%	特環
	甲賀市(土山町・平成2年)	436.0	331.0	75.9%	特環含む
	甲賀市(信楽町・平成14年)	476.2	23.6	5.0%	
	高島市(朽木・平成4年)	57.6	56.0	97.2%	特環
	小計	2,541.8	1,906.4	75.0%	
滋賀県		51,400.8	28,591.6	55.6%	

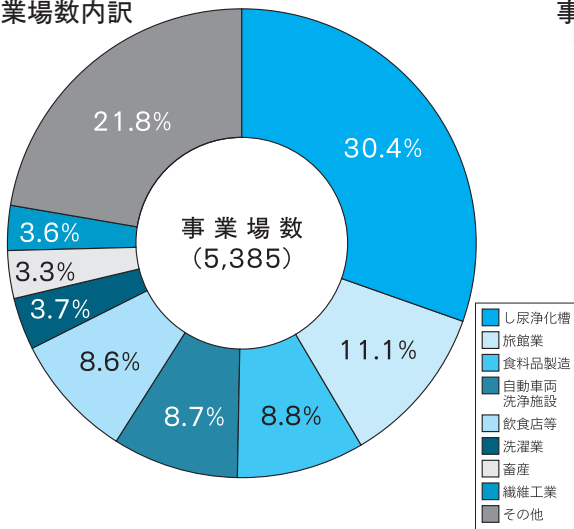
※ 大津市の藤尾処理区は、公共関連下水道

(28) 工場排水規制の実施状況

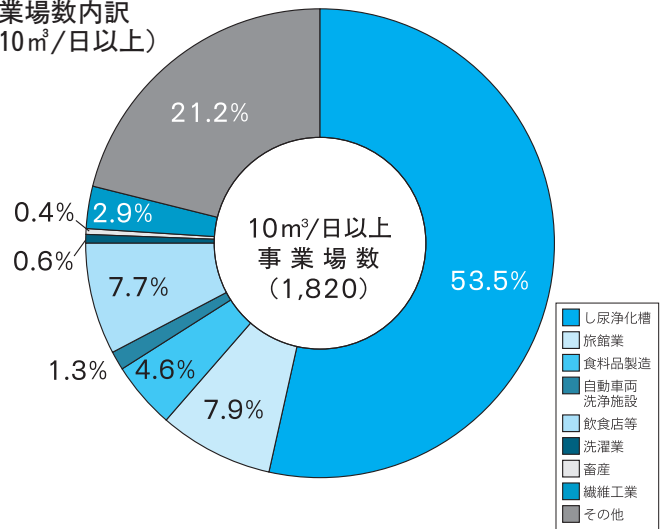
図(28)-1 特定施設・規制対象数の推移



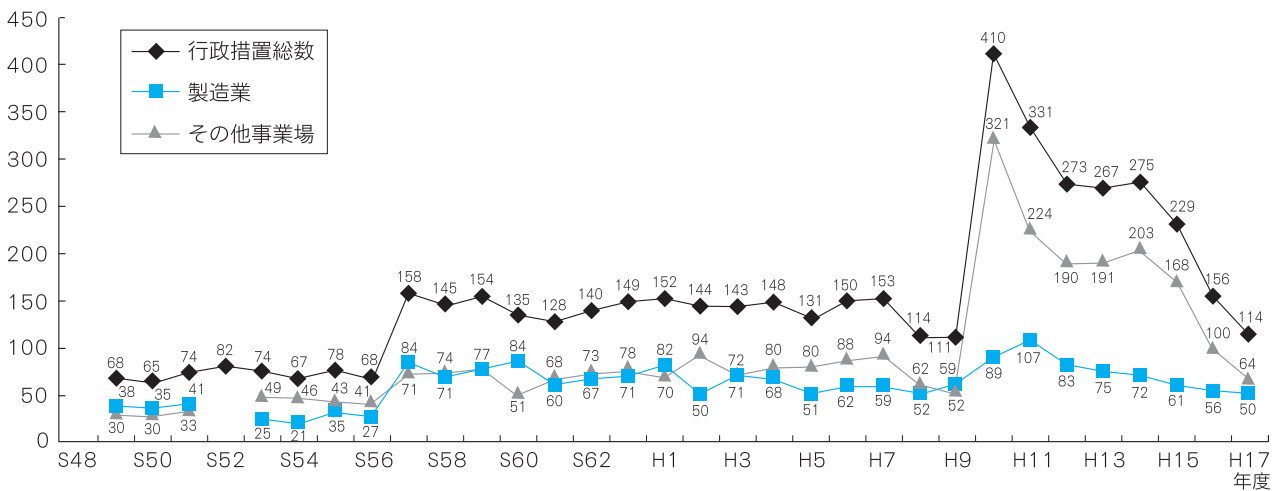
図(28)-2 事業場数内訳



図(28)-3 事業場数内訳 (10m³/日以上)

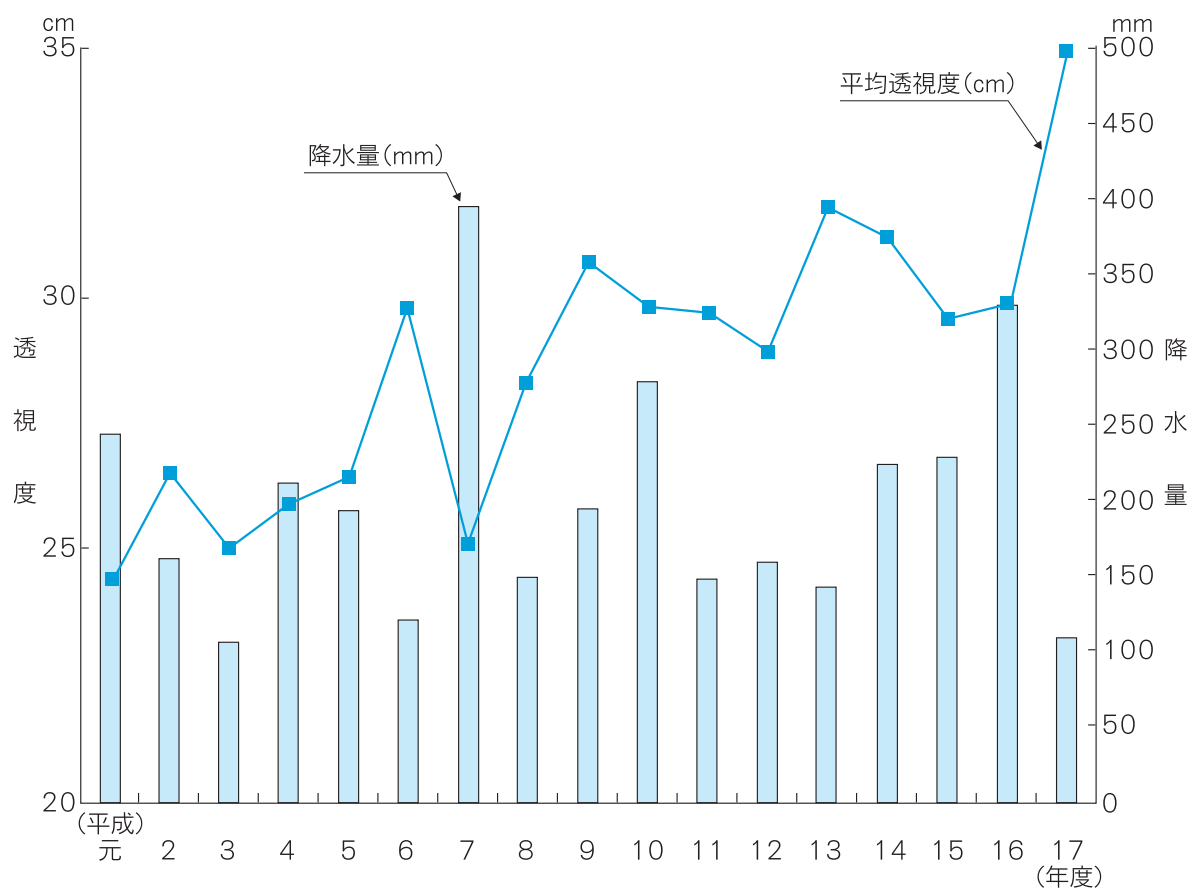


図(28)-4 行政指導数の推移 (業種別)



(29) 代かき・田植え時期の河川の平均透視度の状況

河川の平均透視度と降水量の経年変化 (4/15~5/25)



(30) ゴルフ場使用農薬調査結果

表(30)-1 ゴルフ場における農薬使用状況集計結果

区 分	ホール数 ゴルフ場数	殺菌剤	殺虫剤	除草剤	展着剤	合計
総使用量 (t)	990ホール	14.7	8.5	18.4	0.1	41.7
18ホール当たりの 農薬使用量 (kg)	46場	267	154	335	2	758

(注1) 集計期間：平成17年4月1日～平成18年3月31日

(注2) 集計対象ゴルフ場：ホールの数が6ホール以上であり、かつ、ホール平均距離が70m以上のゴルフ場

表(30)-2 ゴルフ場使用農薬に係わる水質調査結果

○調査対象ゴルフ場 要綱対象46ゴルフ場のうち、春期6ゴルフ場・秋期19ゴルフ場を調査（3年で県内を一巡）。

○調査時期 春季（4月～5月）および秋期（10月）

○調査地点 各ゴルフ場の排水口

農薬名	滋賀県 排水水 基準値 mg/L	春 期			秋 期			魚毒性	人畜毒性	(参考) 環境省 指針値 mg/L
		排 水 口			排 水 口					
		排水水 基準値 超過数	検出数	最高値 mg/L	排水水 基準値 超過数	検出数	最高値 mg/L			
(殺虫剤)										
ダイアジノン	0.005	0	0	—	0	0	—	Bs	劇	0.05
フェニトロチオン	0.003	0	0	—	0	1	0.0012	B	普	0.03
チオジカルブ	0.08	—	—	—	0	0	—	B	劇	0.8
(殺菌剤)										
フルトラニル	0.2	0	0	—	0	0	—	B	普	2
ペンシクロン	0.04	0	0	—	0	0	—	B	普	0.4
メタラキシル	0.05	0	0	—	0	0	—	A	普	0.5
メプロニル	0.1	0	0	—	0	0	—	B	普	1
アゾキシストロピン	0.5	0	0	—	0	0	—	B	普	5
プロピコナゾール	0.05	0	0	—	0	0	—	B	普	0.5
ホセチル	2.3	—	—	—	0	0	—	A	普	23
(除草剤)										
アシュラム	0.2	0	1	0.002	0	0	—	A	普	2
トリクロピル	0.006	0	0	—	0	0	—	A	普	0.06
テルブカルブ	—	0	1	0.001	0	1	0.002	A	普	0.2
ブタミホス	0.004	0	0	—	0	1	0.0026	B	普	0.04
シデュロン	0.3	0	0	—	0	0	—	A	普	3
ベンスリド	0.1	0	0	—	0	0	—	B	普	1
メコプロップ	—	0	0	—	0	0	—	B	普	0.05
ハロスルフロンメチル	0.03	0	0	—	0	3	0.016	A	普	0.3
フラザスルフロン	0.03	0	0	—	0	0	—	A	普	0.3

(注1) 滋賀県排水水基準値欄の「—」は、要綱により本県において使用しないこととしている農薬であるため、排水水基準値を設定していない。

(注2) 検出とは、各農薬ごとに定められた報告下限値以上であったことをいう。なお、検出数には超過数を含む。

(注3) 魚毒性とは、「魚類に対する毒性試験法」(農林省農政局長通達)により、分類されたもの。

A類が毒性が一番弱く、B類、Bs類の順で毒性が強くなっている。

(注4) 人畜毒性の劇物は「毒物及び劇物取締法」により定められているものである。

同法により毒物にも劇物にも指定されていないものを普通物としている。

(31) 琵琶湖水質保全対策行動計画

図 (31) 琵琶湖水質保全対策行動計画推進協議会の構成

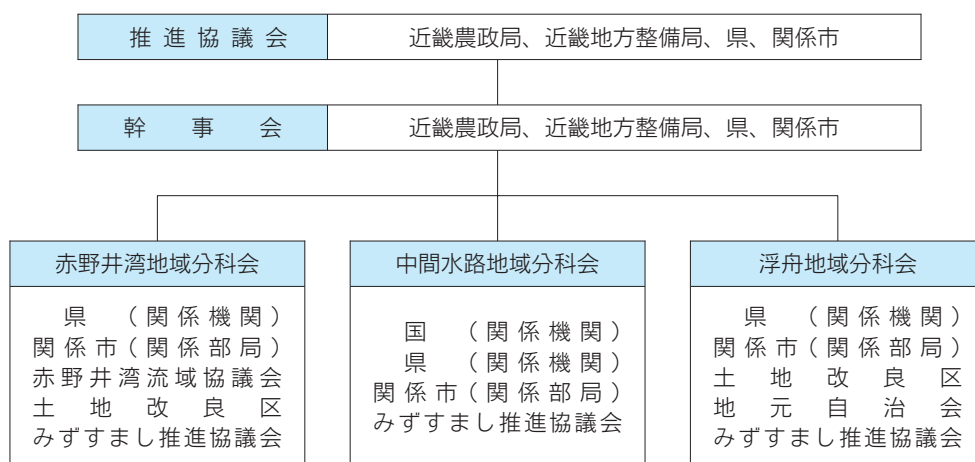


表 (31) 琵琶湖水質保全対策行動計画の事業(量)費一覧表

(事業費：百万円)

事業名		赤野井湾地域	中間水路地域	浮舟地域	合計	平成9～17年度実施
下水道事業	事業量	584ha	965ha	2ha	1,551ha	1,418.7ha
	事業費	16,870	31,390	180	48,440	28,789
市街地排水浄化対策事業	事業量	220ha	110ha	—	330ha	80ha
	事業費	2,000	1,000	—	3,000	1,478
農業集落排水事業	事業量	—	3集落	—	3集落	3集落
	事業費	—	800	—	800	451
水質保全対策事業	事業量	702ha	—	144ha	846ha	332ha
	事業費	4,500	—	820	5,320	3,497
河川浄化事業	事業量	一級河川6河川 普通河川2河川 底質改善108ha	一級河川1河川 底質改善54ha	—	一級河川7河川 普通河川2河川 底質改善162ha	一級河川2河川 底質改善90.8ha
	事業費	16,820	5,770	—	22,590	11,138
合計 (累計進捗率)		40,190	38,960	1,000	80,150	45,353 (56.6%)

(32) 余呉湖の水質調査

図 (32) 余呉湖採水調査地点

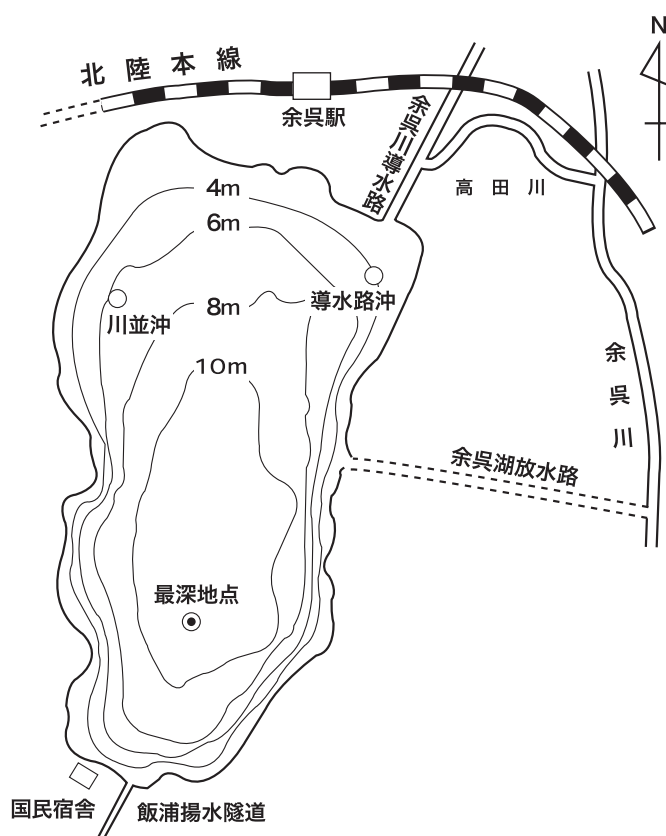


表 (32) 平成17年度余呉湖水質調査結果 (年平均値)

調査地点：湖内4地点

調査頻度：導水路沖・川並沖・最深地点は7回（5月、7～11月、2月）

新羅崎沖は5回（7～11月）

項目	地点				4地点の 平均値	H16年度の 平均値 (3地点)	最深地点の 過年度平均 (H7～16)
	導水路沖	川並沖	新羅崎沖	最深地点			
透明度(m)	2.2	2.3	2.4	2.4	2.3	2.4	2.0
BOD(mg/L)	1.5	2.0	1.6	1.5	1.7	1.4	1.6
COD(mg/L)	3.7	4.1	4.4	3.8	4.0	3.7	3.9
T-N(mg/L)	0.35	0.40	0.43	0.36	0.39	0.42	0.39
T-P(mg/L)	0.024	0.027	0.038	0.025	0.029	0.026	0.029
クロロフィル-a(μg/L)	12.5	24.3	20.7	19.6	19.3	15.7	18.6

注) 新羅崎沖は平成17年度から調査を開始した。

(33) 西の湖の水質調査

図 (33) 西の湖水質調査地点

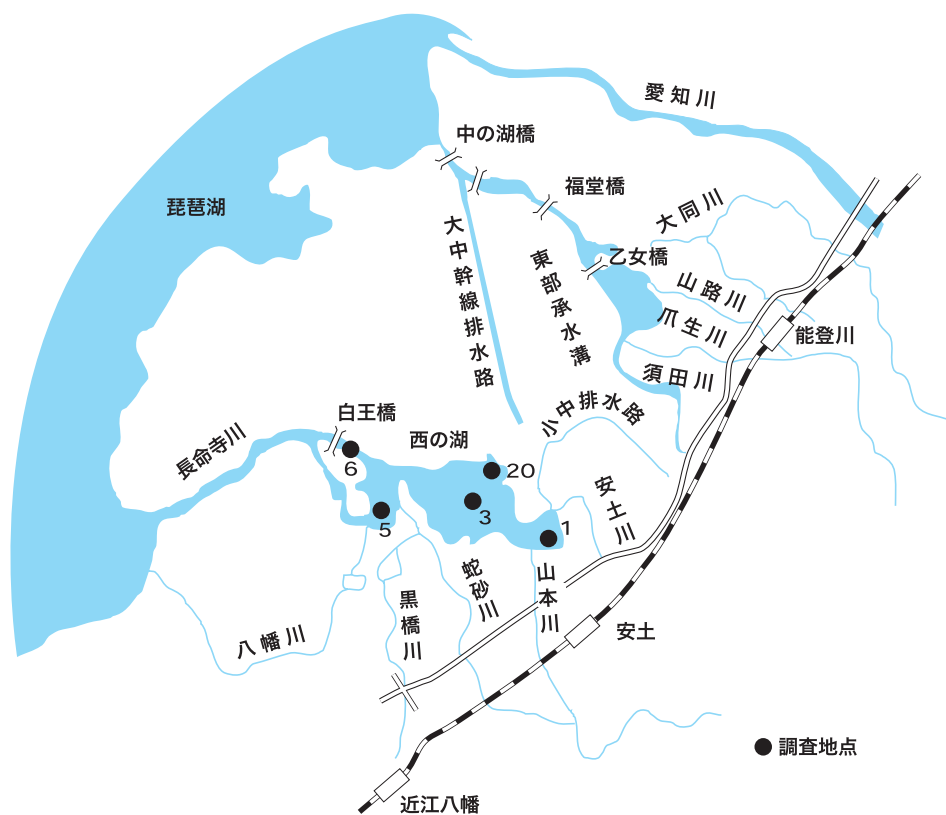


表 (33) 西の湖中央部水質調査結果

項目	単位	西の湖中央部 (No. 3)							調査委員会目標値
		11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	
pH		7.8	8.4	8.3	7.7	8.2	8.0	7.8	6.5~8.5
DO	mg/L	10.2	10.5	10.3	8.1	—	—	8.9	> 7.5
BOD	mg/L	1.8	2.1	1.7	1.7	1.9	1.6	2.4	2~3
COD	mg/L	5.0	5.7	5.0	4.9	4.5	4.6	5.4	3~4
T-N	mg/L	1.56	1.63	1.60	1.79	2.07	1.72	1.90	1
T-P	mg/L	0.055	0.061	0.046	0.045	0.045	0.038	0.055	0.05~0.06
SS	mg/L	10.0	11.0	6.0	8.0	7.0	5.0	9.7	< 10
透明度	m	1.0	0.9	1.2	1.1	1.3	1.3	1.1	> 1

※「—」は欠測を示す